

さくら

-SAKURA-

令和6年2月1日

NO. 80



特集

第9回 議会報告会

広島県立廿日市特別支援学校

高等部第3学年では、総合的な探求の時間に、沖縄戦について学習し、戦時下の生活を知り、平和・命の大切さを感じました。そして、生活単元学習で琉球文化に触れ、エイサーの技能を高め、本校の文化的行事である「はつようまつり」で学習成果を発表しました。令和6年度、廿日市西高等学校内に廿日市特別支援学校阿品台分校が設置され、高等部（単一障害学級）が移転します。阿品台分校に移転しても、本校高等部の伝統を引き継いでいきます。（写真：平和と伝統文化の学習）

CONTENTS

特 集	 2	意見書・議決結果	...14
主な議案	 4	議員全員協議会	...15
一般質問	 6	委員会・視察報告	...17
陳 情	 12	キラリ！ はつかいちの高校生	...18
決 算	 13		

特集

第9回 議会報告会

テーマ ・ 議員定数調査結果報告について
 ・ 令和5年9月議会における審議、審査の状況について
 （議会広報「さくら」による説明）

11月11日（土）市内6カ所の会場で議会報告会を行いました。議員は3班編成で、それぞれ2会場を担当しました。会場でいただいたご意見は、その場で回答できたもの以外は所管の常任委員会に振り分け、今後の対応を協議します。結果は市議会ホームページ、議会広報さくら等でお知らせします。（今回の紙面では、ご意見の一部を紹介）

吉和ふれあい交流センター

参加者10名

意見・質問

- ライドシェアを廿日市で導入できないか。
- 防災行政無線などにもAI技術が活用できないか。
- 吉和の中学生は高校進学時に大きな課題を抱えていることを理解してほしい。
- 中山間地域の人口減少について地域ごとの課題として捉えてほしい。
- 国道488号の高規格化は地元の悲願であるが、市はどうするつもりか。

宮内市民センター

参加者8名

意見・質問

- 住居表示の変更はもっと早く情報提供できないのか。
- 市民への情報提供に、もっと町内会を活用できないのか。
- シビックコア整備計画では交通網の整備も合わせて考えてほしい。
- 学校給食無償化の請願は不採択になったが、ぜひ実現を。

阿品台市民センター

参加者35名

意見・質問

- 小中学校でインクルーシブ教育を進めてほしい。
- 自衛隊と中学生のふれあいコンサートは教育的に適切か。
- 18歳の若者の個人情報保護を自衛隊に提供している。オプトアウト制度の制定を望む。
- 議員に求められているチェック機能や意見交換会を重視するといわれているが、どのように取り組みに反映させたのか。
- シビックコア計画の策定で、都市計画地区のマスタープランの変更がされたのか。
- 都市計画の基本的な方向性が妥当と思えない。利便性、まちの魅力アップになると考えられない。
- 阿品台の下水処理場売却の件について、議会は売却額が妥当と考えているのか。地元は優先的に還元すべきでは。
- 鳴川海岸護岸工事について、駐車場・休憩所の設置を。

e t t o 宮島交流館

参加者18名

意見・質問

- 包ヶ浦自然公園の宿泊施設コンサルティング料400万円に協議会費用が入っていない。地元と話し合う必要がある。
- 宮島には地域集会所がない。グラウンドゴルフのグラウンド、子どもの遊び場がない。一カ所の児童公園は車でいっぱい。
- 文化財現状変更申請の基準に合っていない工事現場を見かける。
- 議員定数は20人程度にできないのか。
- 佐方に何度もクマが出た。隣は土地開発で木を伐り土地を削っており、人間が動物に害を与えている。



etto宮島

浅原市民センター

参加者16名

意見・質問

- 議員を減らすと市民の声が届きにくくなる。例えば浅原の場合も議員が出るのと出ないのでは違う。
- 農業担当の地域支援員を次も配置してほしい。
- 農業振興、次世代が帰り、元のような産地の原風景を。
- 浅原市民センターはドコモが入らない。避難所になっているが、ADSLがサービスを止める。光が使えないところもあり、整備してもらいたい。
- 県道30号線からの環状線整備はどうなっているのか。
- 12月1日からのダイヤ改正で、夕方の便が15分遅くなる。佐伯高校生の帰りが遅くなり生活リズムを狂わす。なぜ事前に相談できなかったのか。
- デマンド交通だけでなく、昼間も定時運行の巡回バスを。
- 暗い道路は通学時に危険。防犯灯の設置が困難なところがあるのでどうにかしてほしい。

市民活動センターおおの

参加者11名

意見・質問

- 広岩道路の無料化要望の結果を出すべきである。
- 自転車用道路整備を。
- 道路の異状は、課が違っても情報共有すべきである。議員も職員も心がけてもらいたい。
- まるくる大野は文化祭で使にくい。福祉センターを残して使いたい。
- 人材不足で先生が足りていない。不登校も増えている。自治会の役員にならない。自治会に入らない。福祉



市民活動センターおおの

社介護分野も。支えていく人をどう増やしていくか、市としてできることは。

議会報告さくら・議会報告会について意見の一部

- 若者が議会に関心が持てる広報誌を作成してほしい。
- 若い人が参加しやすいようゆめタウンなどで開催してほしい。
- 報告会を年2回以上開催できないか。
- 参加者が少なく残念。議会との距離を感じる。もっと身近な議会になるよう望む。

議会報告会における市民意見対応の流れ



左記のフローチャートに基づき、各委員会で

- 1、議会（所管の委員会）で調査するもの（所管事務調査、行政視察、研修会等を活用）
- 2、市への要望等報告事項とするもの
- 3、議会及び市では対応できないもの（他団体、民間関係等）
- 4、その他（議会報告会で回答済のもの等）

に仕分けをし、令和6年3月29日(金)までに市議会ホームページ、広報さくら等で公表します。

12月
定例会

廿日市市の こんなことが決まりました

会期17日間 12月5日～12月21日

今月号では
この中から
3つを

Pick up

議案の状況

令和5年度補正予算

一般会計・特別会計・下水道
事業会計 …… 5件

条例案

廿日市市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例など …… 3件

その他の事案

公の施設の指定管理者の指定
についてなど …… 13件

人事案件

副市長選任の同意について …… 2件

報告

専決処分事項など …… 2件

発議

医療・介護・障害福祉分野
における処遇改善等を求める
意見書など …… 2件

認定

令和4年度一般会計歳入歳出
決算認定についてなど …… 12件

閉会中の継続審査

所管事務調査 …… 1件

承認

議案撤回の件 …… 1件

計41件

AQ

発注時期が秋であり、手持ち工事や技術者不足
等が要因と考える。

A

この度の工事は、電光掲示板などそれぞれを算
定して積み上げ、関連工事として一括で予算計
上したもので、市内受注者への配慮等も考える
中で分離発注等を行っている。

Q

この契約は分離発注の一部となっている。予算
計上は一括で上げ、契約は分離発注というのは
予算の在り方として矛盾はないか。

こんな質問が出ました



Pick up 1

佐伯総合スポーツ公園野球場 改修工事の請負契約を締結

〈議案第85号〉工事請負契約の締結について

佐伯総合スポーツ公園で進められている野球場改修工事のうち、バッ
クネットやダッグアウト等の改修について工事請負契約が締結され
ました。既に完了した解体工事のほか、電光掲示板やナイター照明
などの入札・契約なども順次行われており、来年の9月には誰もが
利用しやすい野球場に生まれ変わる予定です。

請負金額

2億8843万5180円

請負者

有田建設株式会社 代表取締役 有田 智実

工期

議決の日の翌日から令和6年8月30日まで

Pick up2

物価高騰等へ

補正予算で迅速対応

〈報告第12号〉令和5年度一般会計補正予算(第5号)専決処分
 〈議案第80・90号〉令和5年度一般会計補正予算(第6・7号)
 報告を含む3つの一般会計補正予算で、物価高騰などの対策に係る給付金などの支援を含む予算が示されました。住民税非課税世帯への7万円給付の補正は、早期に支給開始できるよう専決処分^{※2}されており、議案となった2件を全会一致で可決しました。

物価高騰等への対策支援

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金追加等
9億4150万円
- ・指定管理者への支援(電気代等)
2313万3千円
- ・子育て世帯への物価高騰対策臨時特別給付金等
1億9450万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興実行委員会補助金追加
4620万円

こんな質問が来ました

Q 新型コロナウイルス感染症対策産業振興実行委員会は、今後もこの名称で活動するのか。

A コロナの5類移行により今年度末でいったん閉める予定にしていますが、他市町では見られない有効な体制であるため、名称を変えて一般の産業支援のプラットフォームとして機能させていきたい。

Pick up3

職員給与等を増額改正も

一議案を要精査で取り下げ

〈議案第77号〉職員の給与に関する条例及び一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

〈議案第78号〉特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

8月の人事院勧告に伴い、民間給与との格差解消を図るため、職員や特別職給与等に関する条例の一部改正案が提案され、議案第77号は全会一致により、議案第78号は賛成多数により可決しました。この改正により増額された給与表や期末手当の支給割合については、4月まで遡及して12月に支給されます。

しかし、同時に提案された「議案第79号 会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」は遡及支給しない改正内容となっており、予算特別委員会での県内他市町での対応状況などの質疑応答の内容から、提案した議案についての再精査が必要と判断されたため、議案79号については撤回されました。

議案78号への討論

〔反対討論〕

報酬等審議会答申に基づいたとのことだが、国の通知では「特別職報酬等は一般職給与とは性格が違い、連動改定では審議会の実効性が失われる」とある。社会情勢から理解は得難く、議員については別の条例で規定すべきでもあり反対する。

〔賛成討論〕

昨年の報酬等審議会の答申に基づき、一般職に準じた支給率が適当との判断によるものである。審議会は社会情勢や他市町の状況を見て開催されるものであり、昨年の答申を尊重することに問題はないため賛成する。

議員のQ & A 一般質問

一般質問とは？

議員が、市政全般に関して執行者（市長等）にその執行の状況や将来の方向、また住民生活に密接に関わる事項等について質問すること、あるいは政策を提言することをいいます。皆さんの生活に関わる大切な質問です。あなたが関心をもった質問はありますか？

質問議員22名 質問41項目

※質問・答弁要旨は質問した議員が書いたものですが、その後、広報広聴特別委員会において校正を行っています。その他の質問は、顔写真下のQRコードから映像をご覧ください。

通告順に表記、◎印は掲載

氏 名	質問タイトル
林 忠正	◎フレックスタイム制について ・中山間地域移住者雇用の地域での取組みについて ・若年層投票率の向上策について
梅田 洋一	・街区公園の今後のあり方について ◎JR阿品駅北側地区の道路整備について ・内部通報制度の強化について
濱本 紀洋	◎避難行動要支援者避難支援制度の現状と、今後について
岡本 敏博	◎市長2期目のまちづくり構想について ・木質バイオマス発電による中山間地域の活性化について
堀田 憲幸	・佐伯高等学校の存続について ◎HIROHAI佐伯総合スポーツ公園を核に活性化を
中島 康二	◎近隣自治体と連携した事業等について
広畑裕一郎	◎宮島訪問税について
向井 恵美	◎未来に希望を感じるまちの実現に向け、福祉政策の充実 ・通学路の安全点検について
北野 久美	・公民連携の推進について ◎介護施策について
佐々木雄三	◎包ヶ浦自然公園の運営に係る進捗状況について
枇杷木正伸	◎原地区の住環境の整備について
佐々木由華	◎スポーツ活動によるケガの予防と処置について

氏 名	質問タイトル
山田 武豊	・市長の公約について ・宮島町史の作成を ◎教員の不祥事についての市当局の体制について
山崎 英治	◎中山間地域の防犯灯の維持、管理について ・市内の防犯カメラの設置について
大畑 美紀	・集落維持など中山間地域の過疎対策について ・保育園再編基本構想前期計画の検証と今後は ◎学校教育について
隅田 仁美	◎学校図書館の充実について ・HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種について
山下竜太郎	◎保育士への支援について
高橋みさ子	◎自衛官等の募集事務に係る対象者情報の提供について ・市長マニフェストについて
水野 善丈	・人命救助・災害対策としてドローンの活用について ◎温もりある市役所の窓口対応に向けて
井上佐智子	◎G7で注目された宮島のアピール活動について、さらに全市的な取り組みの推進を ・市営住宅等について
吉屋 智晴	・持続可能な水産業の発展と豊かな瀬戸内海を未来に繋ぐための施策について ・児童生徒の安全・安心な学びの環境整備のために ◎千年先もいつくしむ。宮島のために
田中 憲次	◎財政問題としての公共施設マネジメントについて

コアタイムのある フレックスタイム制導入を

Q 私は民間の経験を基にフレックスタイム制の導入を主張してきたが、東広島市が来年4月に午前10時から午後3時をコアタイムとするフレックスタイム制を導入する。育児や介護をする職員の仕事と家庭、社会貢献活動やリスクリリング（学び直し）と仕事の両立を支えるためにも早急に導入すべきと考えるがどうか。

A 導入効果はあるが、市民サービスの安定的な供給に支障を来さないような運用方法にすることや、現在の勤務管理システムがフレックスタイム制に対応していないなど課題がある。既にフレックスタイム制を導入している他自治体の運用を参考に課題を解決し、具体的な時期は示せないが、導入を前向きに考えていきたい。



林 忠正 議員



JR阿品駅北側地区 今後の道路整備は

Q 令和5年6月の一般質問において、段階的に宅地化し、人口が増加した地区の道路整備について、JR阿品駅北側付近を事例に聞いたところ、今後の検討についての答弁があった。その後の進捗は。

A 市道阿品2号路線は沿線の宅地化により交通量が増加するなか、車の離合が困難な状況がある。

その後の現地調査により、路線に並行する阿品川に架かる既設床板を利用して待避（離合）スペースを設置することが有効な手段と考えており、技術的に設置可能な箇所の検討を行っている。

今後、既設床板を利用して出入りしている沿線住民等、地元の合意形成を図りながら、実施について進めていく。



梅田 洋一 議員



避難行動要支援者避難 支援制度について

Q 廿日市市避難行動要支援者避難支援プランの問題点について問う。

①支援者が不足状態と思われるが、現状はどうか。

②支援者探しを町内会長に頼っているが、進んでいるか。

③見直しが必要と考えるが、今後どのような内容の見直しが必要と考えているのか。

A ①本人同意が得られた人については、地域の避難支援団体に提供し、個別避難計画の作成を依頼している。

②支援者の確保については、町内会長が担っている地区が大半を占め支援者探しに苦慮しておられることは承知しており、課題と認識している。

③真に支援が必要な人の個別避難計画を作成していきたいと考えている。



濱本 紀洋 議員



市長のまちづくり構想

Q 市長のまちづくり構想の中に「子どもが主役のまち宣言」「医療費助成の拡大・強化」「保育料の半額助成」とある。それぞれの開始時期と財源の確保についてはどうか。

A 「子どもが主役のまち宣言」は当初予算の発表と同時期に「子ども医療費助成の拡大・強化」は小卒までの通院助成を高卒まで、入院助成は中卒から高卒までに拡充する。「保育の半額助成」は、0歳児から2歳児の第一子の保育料を半額助成とする。開始時期は来年度からとする。財源はモーターボートの配分金やふるさと寄付金の活用も視野に入れるが、基本的には例年の予算編成過程において取り組む、ビルド&スクラップにより創出していくものと考えている。



岡本 敏博 議員



佐伯総合スポーツ公園 リニューアルで活力を

Q 令和6年度は、野球場リニューアル、8年度は陸上競技場が多目的広場となる。人を集め活性化にどう繋ぐのか。

A 集客力のあるスポーツ公園の再整備で新たな利用者やエリア内の交流人口を拡大。スポーツだけでなく、人を呼び込むイベントの開催。

公園を拠点とした地域における交流人口や関係人口を増加させ、地域資源に誘導し回遊促進への取り組みを目指す。野球場では、女子硬式野球、プロ野球ウエスタンリーグ、高校野球の公式戦開催、スポーツ少年団等の利用促進。多目的広場は、サッカーや少年野球、ソフトボール、陸上競技の一部、グラウンドゴルフの他イベントの活用策を関係団体と話し合う。



堀田 憲幸 議員



近隣自治体との 連携事業等は

Q 本市も人口減少、少子高齢化に直面している。更に新機能都市開発事業や市街地整備、そして中山間地域の振興等と課題は山積している。長期的視点でのヒト・カネ・モノへの取り組みに近隣自治体との連携や互恵関係の構築が、より必要と考え次の点を問う。

A ①実施している連携事業等は。②今後予定の連携事業等は。

①広島広域都市圏では、本市を含む23市町で協議会を組織化し、神楽や西国街道等のテーマ及び病児・病後児保育事業等を広域に取り組み実施。②技術職員が不足し、広島市からの派遣について検討中。持続可能なまちの責務として、市民サービスの向上や効率化の観点からも広域的で効果的な連携を積極的に行いたい。



中島 康二 議員



注目の訪問税の使途は わかりやすく開示を

Q 宮島訪問税の徴収が開始した。マスコミの報道は、観光客が集中し住民や環境に影響を及ぼす「オーバーツーリズム」対策としても注目しており、次の点を問う。

A ①訪問税の使途は。②課税根拠に基づき、使途をわかりやすく開示する方法は。

①持続可能な観光地づくりの一部を担う財源として、来訪により既に発生・増幅している行政需要への対応や将来負荷の予防に必要な経費に活用する。②新規事業のみに焦点を当てることなく「維持管理経費」や「既存事業の拡充、将来を見据えた新規事業」等に分類をするほか、納税者向けに、写真を中心の資料を別途作成する等、わかりやすい開示方法を検討する。



広瀬裕一郎 議員



希望を感じるまちを 目指す福祉政策の充実

Q 福祉サービスの充実が重要であると考え、次の点を問う。
①タクシー料金の一部を助成する制度は。
②こども医療費助成制度は。
③障がい者施策は。

A ①福祉タクシー利用助成券は、昨今の物価上昇などを踏まえ助成金額の増額や利用助成券の複数枚利用を可能とするなど制度を拡充したいと考えている。

②こども医療費助成制度の対象年齢は、国に先行して通院助成及び入院助成の対象を高校卒業までに拡充すること、できるだけ早く取り組みたいと考えている。子育て世代に共感いただけるまちづくりに努めたい。
③障害福祉サービスについては国の動向を注視しながら対応する。



向井 恵美 議員



介護者の 負担軽減について

Q 超高齢社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、必要な医療や介護等の提供体制の整備が進められている。そのような中、働きながら介護をする方も多く、仕事や家庭との両立が大きな負担となり、生活に影響を及ぼすことが問題視されている。そのため、介護者の負担軽減となる支援策の充実を図る必要があると考えるが、見解を問う。

A 本市では一定数、仕事と介護の両立が困難な人が存在している。介護サービスや制度を知らなかったため離職された方もおり、相談窓口の周知が必要と考えている。また、企業等に対し、介護休業等を利用しやすい職場環境づくりに向けて、働きかけていきたい。



北野 久美 議員



包ヶ浦自然公園の運営に係る進捗状況について

Q 9月の全員協議会において、開発事業について地元の納得が得られるよう協議会を立ち上げるよう提案したがその後の進捗状況について問う。

A 9月議会全員協議会で説明したとおり、市が考える包ヶ浦自然公園にふさわしい施設について、そのイメージがわかりやすくなるように現在募集要項に示す仕様の再調整をしているところである。リーガルチェック※を経た上で最終的な募集要項を策定する予定であり、今年度内に案としてまとめることにしている。またまとめた募集要項案は、まずは議会へ説明を行い、その後提案のあった観光協会や総代会などの宮島地域を代表する団体の代表者で構成する協議会への説明を進めていきたい。



佐々木雄三 議員



※リーガルチェック
契約書等の内容を法律の専門家に確認してもらうこと

原地区の住環境の 整備について

Q 原地区には、現在、榎原住宅と長橋住宅の二カ所の公営住宅があるが、いずれも昭和40年、42年にかけて建築されたものであり、本市では一番古い平屋の簡易耐火構造の建物である。現在、募集も停止しており入居戸数も少ない。市営榎原住宅、長橋住宅の将来展望を問う。

A 市営榎原住宅、長橋住宅は環境の良い地域であり、市街化区域とも隣接し、今後も住宅需要が見込まれる地域であると認識している。

市営榎原住宅、長橋住宅の将来展望については、令和5年度から令和6年度で行う計画の見直しにおいて、原地区の特性や今後の住宅需要を考慮し、跡地の有効活用策を見出せるよう努めていきたい。



枇杷木正伸 議員



スポーツ活動による ケガ予防と処置について

Q 外傷発生時に適切な応急処置ができるよう保護者が正しい知識を持つことが重要である。

①子ども自らが身体ケアに関心を持ち、意識を高め、ケガを未然に防止する取り組みを積極的に行う考えがあるか。

②子どもの身体ケアやケガの知識を学べる保護者向けの講習会を行う考えがあるか。

A ①「廿日市市立中学校における部活の方針」においてケガの防止に対する知識を身に付け、主体的に考え安全な行動を選択できるような指導の充実を図っていく。

②保護者が子どもの身体ケアやケガ防止に関心を持つことは大切である。現在開催予定はないが、PTA連合会との調整の中で保護者の意向も伺いたい。



佐々木由華 議員



市民が監視 再発防止策可視化せよ

Q 令和5年10月に本市中学校教諭が逮捕される事件が発生した。本市教員による不祥事は2年連続で事態は重い。

①改善策を全市民にわかるよう可視化すべきだがどうか。
②当該教諭は令和元年にも同様の事件を起こしているが、その際は公表されていない。これは市民理解を得られるものでなく、市長の考えを問う。

A ①既に市内の各学校に再発防止の詳細な計画を发出しているが、広く理解を得るためホームページにも添付したい。

②市民の信頼を損なう重大な過ちであった。学校管理や教職員の監督等は、教育委員会で行われるべきだが、重要な事案は、適時適切に報告を受け、市長が判断を行うべきである。信頼回復に努めたい。



山田 武豊 議員



中山間地域における 防犯灯の維持管理について

Q 中山間地において、少子高齢化に伴い世帯数も減少し、防犯灯の維持管理が困難な地域が発生している。今後の世帯減に伴う防犯灯の維持管理について市の考えを問う。

A 市民の安全な通行を図るため、町内会などが防犯灯を設置し、維持管理することに対し、その経費の一部を補助している。4月1日現在で市全体では防犯灯数8830灯、53214世帯であるため、6世帯で1灯を、吉和地域では23世帯で1灯を、佐伯地域では29世帯で1灯を負担している。佐伯、吉和地域においては市全体の中では負担割合が高くなっている。今後はアンケート調査を行うことで課題を抽出し、今後の対応を検討していきたい。



山崎 英治 議員



子どもの権利条約 意見表明権の尊重を

Q 学校で子どもの権利条約をどのように教えているのか。

A 小学6年社会、中学社会・道徳などの授業で学習している。子どもの権利条約の趣旨は教科指導にとどまらず、学校教育活動全体を通して大切にされるものであり、生徒指導提要にも記載されている。例えば校則の見直しの過程で児童生徒の意見を表明する場を設定することを大切にしている。

Q 校則見直しで、児童生徒の意見が尊重された経過が見える学校がある一方、不十分と思われる学校もある。意見表明権は尊重されているか。

A 今年度は見直しの3年目で、学校によって、また、生徒会・児童会の参加の仕方によって状況は違う。今後は交流しながらさらに深めていきたい。



大畑 美紀 議員



学校図書館の充実を

Q 子どもたちが本に出会える最も身近な場所である、学校図書館の図書購入費が年々減少。蔵書内容の詳細な実態調査や、それに基づく適切な予算措置は行われているか。また、古い蔵書の廃棄、更新は適切に行われているか。

A 本市の調査結果では、ほとんどの学校において、学級数により定められる蔵書数が、図書標準冊数に達している。廃棄については、現在市で基準を設けておらず、各学校の判断である。今後は学校の状況を聞き取り適切な基準の設定を考えていきたい。標準冊数に満たない学校は、各学校への予算配分を考慮し措置している。今後も、蔵書状況の調査結果に基づいて実態把握をした上で予算確保に努める。



西田 仁美 議員



保育士への支援について

Q 本市の保育職場は、職員数も業務もギリギリの状況との声があり、改善が必要である。業務軽減策として、登降園の打刻記録や欠席などの連絡をアプリで受け付ける業務支援ツール「コードモン」の導入と、事務職員の配置をしているが、新たな業務が発生したり、事務職員がいけない日は誰かが事務仕事をしたりしている。

A 事務職員は各園に一人ずつ配置した方がより保育士の業務が軽減されるかどうか。

A 公立保育園では現在6人の事務職員が15園中11園でデータ入力や電話対応などを行っている。勤務場所と時間は改めて状況を確認し、人員を配置していきたい。保育士の意見をしっかりと聴き、研修や通信環境の整備を行う。



山下竜太郎 議員



自衛隊への情報提供に除外規定を

Q 自衛隊は自衛官等募集のため、自治体に対し対象者の情報提供を要請しているが、多くの市民はそのことを知らない。本市の情報提供状況を問う。

A 自衛隊は本市に対し、住民基本台帳に登録されている18歳の市民の情報提供を求め、閲覧による方法で例年約千人分の情報を書き写している。

Q 他市では、情報提供を希望しない人に対し除外申請を受け付け、自衛隊へ提供する情報から除外している。本市でも同様の対応をすべきではないか。

A 閲覧では除外規定を作るのは難しい。慎重な検討が必要だが、市民にも自衛隊にもメリットはあり、情報提供という形に変え、来年度に向けて検討する。



高橋みさ子 議員



温もりある市役所の窓口対応に向けて

Q 本庁に、フロア案内を配置すると来庁者も安心した窓口サービスが受けられると思うがどうか。

A 現在は、市役所1階の市民ロビーにフロア案内は配置していない。令和6年2月以降は、市役所に来庁する人が目的の手続きを円滑に行えるよう、総合案内カウンターとは別に、市民課の申請書等記載台の周囲にフロア案内を配置する予定である。

Q 市サービス電話予約する際、電話が繋がらない時がある。電話対応の拡充はできないか。

A 今後一時的に多くの電話対応が必要な場合、過去の実績も参考に想定される規模を的確に捉え、コールセンターの設置や電話回線、電話機の増設などの対応をとりたい。



水野 善文 議員



もみじ饅頭は宮島が発祥の地

Q もみじ饅頭は広島県内どこでも製造販売しているので、「もみじ饅頭は宮島が発祥の地」と猛烈なアピールをしてはどうか。また「杓子」と「饅頭」は宮島に深い縁がある文字だ。「杓」と「饅」を常用漢字にする活動を官民一体で行うことで猛烈な宣伝効果があるが、市の考えを問う。

A もみじ饅頭や杓子を対外的にPRすることは市民の誇りにつながる。現在、宮島伝統産業会館でもみじ饅頭の焼きや杓子づくり体験の場を通じて特産品や伝統産業をPRしてきた。今後は歴史を学ぶ機能を追加したり、HPや各種観光イベントを通じてPRしたい。常用漢字化については、地元の盛り上がりがあればと考える。



井上佐智子 議員



「千年先もいつくしむ。」 宮島のために

Q 本年9月26日午後6時過ぎ、大規模改修工事を終えた厳島神社大鳥居の下を、水上バイクが高速で通過するという事案が発生した。悪質行為による被害を未然に防ぎ、国内外の観光客の方々に将来にわたって来島していただくためにも、条例等による規制強化を検討すべきと考えるがどうか。

A

このような行為はあってはならないものと考えているが、法令等による規制はなく、公有水面を管理する海上保安庁や厳島港港湾区を管理する広島県において、注意喚起や走行マナーの啓発等により対応しているのが実情である。今後、世界遺産を擁する宮島を守っていくため、関係機関と連携、協力の上、その対応を検討していきたい。



吉屋 智晴 議員



財政問題と公共施設 マネジメントについて

Q 財政問題と市の公共施設マネジメントについて問う。

A

主な公共施設については長寿命化計画を策定し、適切に施設を改善改修することで施設の延命化を図ることとしている。民間事業者に施設の点検改善を一括して管理委託する公共施設包括管理業務を導入し、施設管理のプロによる適正な施設管理に努めることで長寿命化を推進している。また効率的な資産活用の中で資産の有償貸し付けや建物付きの売却などが挙げられる。広域的連携としては、エネルギークリンセンターは大竹市と連携することにより財政負担の軽減をはじめ環境への負荷低減など効率的かつ効果的な管理運営を行っている。



田中 憲次 議員



用語説明

- ①ライドシェア (P2) …自動車を相乗りすること。日本では、一般人が自家用車を使い有償で他人を輸送することは法律で禁止されているが、2024年4月に条件付きで限定解禁される予定。
- ②専決処分 (P5) …本来は議会が議決しなければならない事件を、自治体の長が議会の議決を経ないで処分することで、①議会を招集する時間的余裕がないことが明らかである場合 ②軽微な内容で、あらかじめ議決によって特に指定したもの がある。①は議会への報告と議会の承認が必要で、②は報告のみ必要。
- ③オーバーツーリズム (P8) …過度な観光客の増加に伴う渋滞や騒音、自然環境への悪影響などの総称。
- ④コネクトパーキング宮島 (P15) …トラックドライバーの働き方改革を進めるひとつとして、九州方面と関西方面からのトラックドライバーが、車を乗り替えるなどの輸送の中継地点。

陳 情

■浅原集落排水事業について

廿日市市農業集落排水処理施設及び管理条例に基づく戸屋原地区用水路の水の状態に関する改善要望の陳情が提出されました。建設常任委員会では、この陳情書を確認の上、継続して審査することとしました。

■令和6年度理科教育設備整備費等補助金予算計上

陳情書にある主な要望は次の4点でした。

- ・令和6年度理科教育設備予算の計上
- ・観察実験に伴う消耗品の予算措置
- ・観察実験が十分行える場所（理科室）の確保
- ・実験支援員の配置

この陳情は、文教厚生委員会での協議により、その主旨を尊重し、今後の教育に係る経費について審査する際の参考にする事となりました。

令和4年度決算をチェック 税金の使われ方を認定

各会計の決算状況

単位：千円

会 計 名	歳入 (収入)	歳出 (支出)	差引額
一般会計	59,777,823	58,926,625	851,198
特別会計 (8会計)	24,977,062	24,338,574	638,488
合 計	84,754,885	83,265,199	1,489,686
企業会計名	事業収益 (収入)	事業費用 (支出)	差引額
水道事業会計	3,046,561	2,914,892	131,669
国民宿舎事業会計	22,247	48,145	-25,898
下水道事業会計	3,937,081	3,658,042	279,039

※企業会計の資本金収入・支出は掲載していない。

※国民宿舎事業会計の事業費用に含まれる減価償却費は33,582千円

10月12、13日及び21日に決算特別委員会（10名の委員）が開催され、令和3年度の一般会計及び各特別・企業会計の決算認定について審査を行い、慎重な審査の結果、討論はなく全委員でいずれも認定すべきものと決定しました。

12月5日の定例会初日に決算特別委員長から、原案どおり認定すべき旨の報告がありました。が、一般会計及び国民健康保険・後期高齢者医療特別会計、水道事業会計で討論があり、起立による採決の結果、いずれも賛成多数により認定しました。

決算特別委員会の 主な質疑

Q 一般会計について、歳入のまちづくり推進基金繰入金におけるモーターボート競走事業分配金の使途と内訳を問う。

A 令和4年度の宮島ポートレーズ企業団からの分配金額は15億3825万円であった。そのうち、令和4年度当初予算額として2億9300万円と令和3年度の配分金の一部である5億1275万円の合計8億575万円を、子ども・子育て、教育、医療・福祉などの分野に充当しており、令和4年度の配分金の残りの12億4525万円については、翌年度以降の事業に充当するため、まちづくり推進基金に積み立てている。

Q 健全化判断比率について、実質公債比率が単年度では7.4%に増加している理由と、経常収支比率が増加した要因を問う。

A 実質公債比率については分子である元利償還金が前年度と比較して、合併特別債等の償還開始により約5.3億円の増加になったこと、分母である令和4年度の標準財政規模が、臨時財政対策債発行可能額の大幅な減少により、約4億円の減少となったことが主な要因である。また、経常収支比率については、国の経済対策により普通交付税が増大した令和3年度が異質であり、令和4年度は令和2年度と同程度で推移している。

討 論

反対討論

一般会計：篠津地区公共施設整備事業はDBO方式でなく直営にすべきだった。新機能都市開発より、気候危機や食糧危機回避を考えたまちづくりを。

国民健康保険・後期高齢者医療特別会計：税率引き上げでなく、軽減を。

水道事業会計：広島県水道企業団に統合されたが、市単独で担うべきだ。

賛成討論

一般会計：新機能都市開発は本市に不可欠な事業である。篠津地区公共施設整備事業はDBO方式で約1割の経費削減になった。

国民健康保険・後期高齢者医療特別会計：増税は県の広域連合の方針である。

水道事業会計：市では限界があり経営基盤強化が必要。

議会の意思を国政へ

意見書2件を可決しました。

医療・介護・障害福祉分野における 処遇改善等を求める意見書（要約）

介護事業所や障害福祉事業所では、人材の確保・定着が難しく、運営に支障をきたす事態が深刻になっている。人事院勧告は民間企業の賃上げを受けてプラス改定となり、私立保育園等の公定価格や児童養護施設の措置などは4月に遡って増額される一方で、介護報酬や障害福祉サービス等報酬には反映されない状況である。

よって政府に対して以下のとおり、介護職員等の人権を尊重し生活を保障する取り組みを迅速に推進するとともに、職員の賃金水準を確保するための制度改革を強く求める。

1. 医療・介護・障害福祉分野の賃上げについて、経済対策での処遇改善支援事業を早期に実行すること。その上で、令和6年度の同時改定においては物価高騰・賃上げ上昇等を踏まえ処遇改善等を行うこと。

森林環境譲与税の譲与基準の見直し及び 林業・木材産業の活性化対策の推進を 求める意見書（抜粋）

1. 森林環境譲与税については、林業にかかる財政需要がより大きい地方公共団体が、実情に応じて森林整備や路網整備、林業の担い手確保などに十分に取り組むことが出来るよう譲与基準の見直しを行うこと。
2. 市産材の安定的な供給体制の確保と生産性向上を図るため、移住者など多様な人材も含めた担い手の確保・育成、高性能林業機械の導入、森林資源・生産管理へのICTやデジタル技術の活用及び路網整備、木材関連産業の施設整備に対する支援等をさらに強化すること。
3. 市産材の需要拡大を図るため、公共・民間建築物の木造化・木質化を一層促進するための支援等を強化すること。

議決結果

会期 令和5年12月5日～12月21日の17日間

令和5年第4回定例会の議案等のうち賛成・反対が分かれたものについて、各議員の賛否の状況をお知らせします。その他の議案等は、全会一致で認定・可決・同意となりました。

議決日	種別	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	1 佐々木由華	2 濱本紀洋	3 坂本和博	4 梅田洋一	5 山崎英治	6 山下竜太郎	7 吉屋智晴	8 水野善丈	9 向井恵美	10 隅田仁美	11 北野勇一	12 北野久美	13 山口三成	14 枇杷木正伸	15 中島康二	16 田中憲次	17 広畑裕一郎	18 林忠正	19 山田武豊	20 大畑美紀	21 井上佐智子	22 佐々木雄三	23 徳原光治	24 高橋みさ子	25 栗栖俊泰	26 堀田憲幸	27 岡本敏博	28 新田茂美	
12月5日	認定	1	令和4年度日南市市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	
12月5日	認定	2	令和4年度日南市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
12月5日	認定	4	令和4年度日南市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
12月5日	認定	10	令和4年度日南市市水道事業会計決算認定について	認定	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
12月21日	議案	78	特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	20	7	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	議長

〔表示例〕 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職

議員全員協議会

全議員に重要な取り組みの説明がありました

廿日市市定員管理計画の

見直しについて

本市では、令和3年7月に定員管理計画（令和3～7年度を策定し、令和8年4月1日の職員数を令和3年4月1日の職員数と概ね同数の1,030人とする目標にしています。

こうした中、本市を取り巻く社会情勢の変化、将来に向けたまちづくりの取り組みを着実に推進していく体制整備を行うため、定員計画の見直しを行う、との説明がありました。

見直しの背景

- ①働きやすい職場環境の整備
- ②「選ばれ続けるまち」の推進
- ③国の取り組みに呼応した対応
- ④定年年齢の引き上げ等の対応
- ⑤より良い保育環境の整備
- ⑥水道事業の広域連合への参加

見直しの内容

目標値 令和8年
職員1,050人

主なQ&A

Q 定年年齢引き上げの対応が増加に何人くらい影響しているか。

A 10人程度増加と見込んでいる。

新機能都市開発事業としての 平良丘陵土地区画整理事業の 進捗状況について

今年5月、土地区画整理組合を設立。9月には観光交流エリアのまちづくり協議会が立ち上がり、全体で70haの造成工事に入りました。Bゾーンでは令和10年度開業を目指し市内外の企業20社が内定。Aゾーンの観光交流エリアは、15haの中に宿泊施設・温浴施設・飲食・物販、体験型施設などを計画。年間400万人の誘客を見込み、経済効果200億円としています。

主なQ&A

Q Aエリアの見込み客と宮島との関係はどうなるのか。

A 奪い合うのではなく相乗効果を見込んでいく。

Q 交通体制の中で国道2号西広島バイパスとの関係はどうか。

A コネクトパーキング宮島との関係で、国や県に早く進めるように要請していきたい。

地球温暖化対策実行計画(案) について

本市から排出される温室効果ガスの削減に向けた廿日市市地球温暖化対策実行計画(案)の説明がありました。

計画期間：令和6～12年度

対象とする範囲：区域施策編は廿日市市全体、事務事業編は市の事務及び事業

対象とする温室効果ガス：「地球温暖化対策の推進に関する法律」で示された7種のうち、全体の8割近くを占める二酸化炭素(CO₂)削減目標：2013年度比で

2030年度 51%削減
2050年度 カーボンニュートラル

本市には安定したベース電源を確保できることが強みであるため、

地域新電力会社の設立を核として市民・事業者・行政が一体となって推進することを目指すものです。

今後のスケジュール

令和6年1月	パブリックコメント
同 2月	庁内検討委員会
同 3月	環境都市推進委員会
同 4月	計画策定・公表
同	地球温暖化対策実行計画スタート

主なQ&A

Q 新電力会社設立時期は。

A 来年度中に設立し、令和8年には電力供給を開始したい。

Q 新電力会社に切り替えると、CO₂の削減になるとのことだが、電気料金はどうか。

A 今後協議するが、現在の電力全体の数字を参考に試算すると年間約4400万円の電気料金の減額になる。

Q 市が電力会社をつくり、みんなに供給できるのか。

A まずは公共施設に100%、さらに可能性があれば市内事業者に供給したい。状況を見ながら進めていく。

宮島口地区整備事業の

進捗状況と今後の計画について

宮島口整備事業は、「宮島口地区まちづくり整備計画」（平成29年12月策定）に基づき進められています。計画期間は令和2年度までを短期、令和8年度までを中期、令和18年度までを長期と位置付けています。

令和5年度完成予定：県事業の港湾緑地、カーフェリー桟橋、広島電鉄幹線事業の駅前広場、観光バス駐車場

令和6年度完成予定：県事業の県道厳島公園線ロータリー、東側護岸高潮対策、ターミナル待合所

令和7年度完成予定：市の工事であるロータリーを含む赤崎14号線2工区工事

令和8年度完成予定：県と市の共同事業である、アクセス道路の赤崎3号線、市の工事である国道2号北側の赤崎3号線、県の工事である東側の海辺の回遊軸工事

主なQ&A

Q 赤崎14号線はいつ頃から使えるのか。

A 今年度末には供用開始になる。

Q 待合所ができるのはいつか。

A 大栈橋上に設置するよう設計中で、12月末までにはプレハブで仮設の待合所を設置する。

Q 赤崎3号線の横断歩道は歩行者が多く、車が通行できないので改善できないか。

A 混雑が予想される日には誘導員を配置している。4車線化後の動向にも注視し対応を図りたい。

Q タクシー乗り場の待合所に屋根を付けてもらえないか。

A 広島県と話してみる。



文教厚生常任委員会説明

今後の事業方針が示されました

◆廿日市市健康増進計画（第3次）及び廿日市市食育推進計画

◆廿日市市自殺対策計画（第2次）

◆第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画

の案について説明を受けました。開始はいずれも令和6年度です。

主なQ&A

Q 本市でもオーガニックを進める農家が出てきている。食の安全性の意識を持つことは大事であり、食育推進計画には、オーガニックという言葉を入れたらどうか。

A 環境負荷の低減のために農産物の生産体制を整えていくことも大事であり、検討したい。

議場機器をデジタル化

一般会計補正予算

議会棟議場撮影音響設備等改修工事

3188万円

使用開始から13年経過した議場のマイクシステムを更新します。また、マイクシステム更新に合わせ、議場の議会運営システム機器をすべてデジタル化し、令和4年度に

Q 自殺対策について、どこへ相談すればよいのか。

A まずは総合的な受付を行う場所から最適と思われる場所へ繋ぐ。

宮島幼稚園の認定こども園に係るスケジュール変更について

幼稚園の運営を行いながら改修工事を行う予定でしたが、運営と分離しての施工に変更し、当初令和6年4月としていた工事の着工を令和7年4月に変更します。また、認定こども園の運営開始は令和7年4月ですが、宮島幼稚園現地での工事期間中（令和7年4月9月末）までは宮島福祉センター（現みやじま保育園を運営）を仮園舎とします。

更新済みの映像システムとも連携することにより、円滑な議会運営を推進します。

傍聴席には難聴者のためのヒアリンググループが設置されます。

改修工事は令和5～6年度に行われ、全体事業費は8189万2千円です。

議会活動レポート

行政視察報告

総務常任委員会

本市が抱える課題解決に向けて、本年の10月4～6日の日程で、左記のとおり行政視察を行いました。

○大阪府岸和田市：丘陵地整備事業について

↓本市の新機能都市開発事業を見据えて

○兵庫県高砂市：公共施設マネジメントについて

↓「公共施設マネジメント基本方針」更新を見据えて

○岡山県備前市：移住定住施策全般

↓移住定住施策を見据えて

○香川県高松市：スマートシティたかまつ推進事業について

↓本市のDX施策展開を見据えて

総務常任委員会では、本市の「公共施設マネジメント基本計画」の改定にあたり、所管事務調査を継続的に行っており、今回の視察内容も参考に委員会で調査研究し、より良い内容になるように取り組んでいます。



文教厚生常任委員会

11月7～9日の日程で先進地視察を行い、所管事項の調査を行いました。いずれの視察先も大きな成果をあげており、市の取り組みの参考となる意義深い研修となりました。

○埼玉県さいたま市：学習支援

○千葉県浦安市：放課後うらっこクラブ

○東京都江戸川区：ひきこもり対策

○兵庫県加古川市：見守りサービス

所管事務調査などで市の状況など比較しながら、後に反映できるように取り組んでいきます。



広報広聴特別委員会

委員会所管の議会広報誌・議会報告会の更なる充実のため、本年の11月13～14日の日程で、先進議会を視察しました。

○静岡県菊川市：フルカラーでゆったり行間の紙面で読みやすい。議会でFBページを運営。「語ら座あ」と題し、市内11か所と市役所庁舎で、年間計12回の広聴会を開催。○京都府福知山市：フルカラーの紙面で、市内企業の有料広告欄もある。団体対象や地域巡回の形式で議会報告会を行い、対話形式で自由な意見交換の場となっている。

○兵庫県丹波市：高校生が読者モニターになり編集に加わる。井戸端スタイルの市民との意見交換会開催。

先進議会の取り組みにそれぞれ特徴があり、本市の広報誌づくりや議会報告会の実施に活かしていきます。





廿日市特別支援学校

「廿日市西高等学校との交流」

本校と廿日市西高等学校との交流は約30年続いています。今年度も、廿日市西高等学校の交流委員を招き、事前に生徒間で打合せをした内容（自己紹介やレクレーション、創作活



動など）で交流しました。

令和6年度、廿日市西高等学校内に廿日市特別支援学校阿品台分校が設置され、高等部（単一障害学級）が移転します。今後も廿日市西高等学校と協働しながら活動し、相互理解を深めていきます。

次回 3 月 定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	2/19	20	21	22	23	24
			本会議 (議案説明) (一般質問)			
25	26	27	28	29	3/1	2
	本会議 (一般質問)		委員会 (予算委員会)			
3	4	5	6	7	8	9
	委員会 (予算委員会)					
10	11	12	13	14	15	16
		委員会 (予算委員会)		(予備日)		
17	18	19	20	21	22	23
			本会議 (委員長報告等)			

9:30 開会（変更の場合があります）

本会議はインターネット中継（手話通訳の同時配信）を行っております。

議会を見学しよう。

廿日市市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁北側2階の議会事務局窓口までお越し下さい。

ご意見をお聞かせください。



議会へのご意見はホームページの問い合わせ・意見送信フォームをご利用ください。

議会の動画を見よう。

本議会の模様をインターネットでモニター中継・録画配信しています。また、本会議開催中は本庁舎ロビー及び各支所で生中継を行っています。

議会に参加しよう。

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

広報広聴特別委員
水野善丈

本委員会では、4年ぶりに他市町へ視察に伺いました。議会だよりが、市民と議会を結ぶ大切な役割であると再確認するとともに、議会報告会などの市民の声を聞く広聴機能の伸びしろはまだあると実感しました。

視察での学びを本紙編集に活かし、皆様のお声を市政へ反映する仕組みづくりにも取り組んでまいります。本紙が市民と議会の懸け橋となるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

廿日市市議会ホームページ

廿日市市議会

検索

目の不自由な人のため

- 音声読み上げのための「市議会広報さくら」テキスト版をホームページに掲載しています。
- 「市議会広報さくら」のデジータ図書、点訳本があります。 ■ 問い合わせ 社会福祉協議会 TEL20-0294



市議会広報は、植物油インキを使用しています。